

第5回新発田駅前複合施設サポート組織研修会 概要

- 1 開催日時：平成27年11月12日（木） 午後6時30分～午後9時
- 2 開催場所：地域交流センター あおり館 屋内広場
- 3 参加者数：20名
- 4 日程
 - (1) 開会
 - (2) 第4回研修会概要報告
 - (3) 組織図案説明
 - (4) グループワーク
「サポート活動がしやすい組織とは？組織体制を考える。」
 - (5) 発表
 - (6) 質疑応答
 - (7) 諸連絡
 - (8) 閉会

グループワーク「サポート活動がしやすい組織とは？組織体制を考える。」	
1 班	<p>【部会制について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・部会制に異論はない。 ・「イベント部会」「広報部会」は「図書館部会」「こどもセンター部会」等と同列でない。全てに関わるものであるため、別の位置づけをした方がよい。 ・部会同士の横のつながりが必要である。 ・運営委員会を通すと発議に時間がかかるため、日々の業務等は部会間で調整ができるとうい。 <p>【運営委員会について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イベントごとに備品等が必要になると思われるため、運営委員会に備品等購入の権限があるとよい。 ・会計の負担が大きいため、イベントごとに交替制にしてはどうか。 ・サポート組織代表の責任が大きいため、部会ごとの交替制にしてはどうか。 ・運営委員会の開催は年4回程度、定期的に行うのが妥当と考える。 ・運営委員会の負担や責任が大きすぎると、役員をする人がいなくなるため、任期や交替制について検討する必要がある。 <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活動に関する責任の問題がある。

	グループワーク「サポート活動がしやすい組織とは？組織体制を考える。」
2班	<p>【部会制について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規サポーター募集の際は、各部会に所属せず、自由に活動可能な登録制をもうけてはどうか。サポーターの活動内容を示し、複数の部会（活動内容）に登録し、イベントの案内や募集をすることでサポート活動に参加する人数を増やすことができる。 ・各部会からの吸い上げにより、運営委員会がイベント、企画立案を行い、各部会が実行に移すため、独立した「イベント部会」は不要と考える。 ・「広報部会」は他部会と並列ではなく、独立して広報の業務をもうけた方がよい。 ・「環境改善部会」の活動は必要であるが、部会名は、活動内容が伝わりやすい名称に変更した方がよい。 <p>【運営委員会について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市の職員もサポート組織に参加し、横のつながりを大切にし、支援をすべきである。 ・サポート組織に対し、市の支援も必要である。 <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サポート活動に関する連絡は、作業量軽減、参加人数把握のために有効な手段を取るべきである。（例：郵送での連絡以外に、メールでのご案内、サポート組織専用ホームページにて、月間予定表の公開と合わせてネットでの申込み、サポーターの参加人数集計ツール等システムの構築） ・サポート活動に参加する人にはポイントが付与され、何らかの特典が受けられるとよい。
3班	<p>【部会制について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「広報部会」「イベント部会」「環境改善部会（環境美化）」については、通常の部会分けに当てはまらないため、同列ではない。 ・部会として、多目的室で活動を行う「多目的室部会」を追加してはどうか。 ・「イベント部会」については、大きなイベントを開催する際には新たに有志を募り、部会ではなくチームとして考えるべきである。 ・「環境改善部会」ではなく、「環境美化」とし、部会ではなく有志のチームとすべきである。 ・部会としては、「図書館部会」「こどもセンター部会」「キッチンスタジオ部会」「多目的室部会」の4つ、別枠として「広報部会」「環境改善部会」「イベント部会」という分け方が妥当ではないか。 <p>【運営委員会について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運営委員会を設けると、ひとつのことをやるにしても発議からかなりの時間を要するため、部会長会議のみを開催してはどうか。（日常業務に関しては、部会長と各機能担当職員にて調整し、他部会と関わるものについては、部会間で調整する。）

グループワーク「サポート活動がしやすい組織とは？組織体制を考える。」	
4班	<p>【部会制について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・部会に所属せず、活動する方法はあるか考えるべきである。(今まで活動を続けてきた団体には積み重ねがあり、変わりなく活動が継続できるとよい。) ・大きなイベントを開催する際は、部会制の組織図案の形が活きてくる。逆に、今まで既存の施設で活動をしていた方たちが変わらずに活動を継続する方法も検討しなければならない。 <p>【運営委員会について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・組織全体の活動の枠を作るのは、サポーターだけでは難しいため、調整できる人物、組織(コーディネーターやNPO法人等)が必要である。 ・全体の活動を調整するのは、第三者がよい。 <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・組織体制については、大きなイベントと日常業務で分けて議論すべきである。 ・組織を作ると調整のための会議が増えるため、サポーターの活動時間を確保できるよう考慮しなければならない。

個人ワーク「サポート活動を盛り上げ、長く続けるために必要なもの」	
	<p>【今までの研修会で出た意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分たちの活動がまちを盛り上げているという満足感が必要 ・サポート活動にかかる費用の助成(無料化)が必要 ・各自、アンテナを張り、向上心を持つ。 ・サポート活動中の駐車場利用料の無料化 ・活動には極力制約を設けず、自由な活動を行う。 ・サポーターの施設利用料の無料化 ・サポーターそれぞれの得意分野を前面に出した活動を行う。 ・サポーターの施設利用申込を優先的に受け付ける。 ・サポーター間の話し合いの積み重ねにより活動を検討する。(サポート組織内で意見交換) ・サポーター間のつながりを大切にする。 ・サポーターの方やいろいろな団体との交流の場があるとよい。 ・学生も交えて活動し、若い方の意見も取り入れる。 ・NPO法人化し、組織を作るべきである。 ・無理な活動、無理な計画は立てず、継続して活動を行う。 ・定期イベントとビッグイベントを行い、施設利用者呼び込む。 ・活動に観光等をからめ、市外の施設利用者を増加させる。 ・大きな団体の意見も個人サポーターの意見も同様に扱い活動に活かす。 ・市民と行政の信頼関係により、一緒に組織、活動を作り上げる。 ・ボランティアを行っている現場の意見を聞いて参考にする。

個人ワーク「サポート活動を盛り上げ、長く続けるために必要なもの」

【新規意見】

- ・ イベント運営ばかりを考えるのではなく、日常運営についても細かく考える必要がある。
- ・ サポーター活動に対する特典等があるとよい。
- ・ サポーターとして、自分の所属が決まったとしても、興味のあるイベントのサポーターとして自由に参加、助力できるとよい。

【質疑応答概要】

質問 1 今回の研修会で組織図案に対する意見が出されたが、これらの意見を基に、再度、市としての組織図案を提示してほしい。

回答 1 本日は、組織図案について多くの意見をいただいた。次回はこれらのご意見をまとめてお示しできるよう準備を進める。